

なぜプラスチックの回収方法が変わるの？

日本全体での背景

- 不法投棄されて海に流れ込んだプラスチックごみが、海洋生態系へ悪影響を及ぼしています
- 石油から作られるプラスチックは燃やすと二酸化炭素(CO₂)を発生して、地球温暖化の原因となります
- これまで先進国のプラスチックごみを受け入れてきた新興国が環境汚染の深刻化で輸入規制に動いています

江東区での背景

- 現在燃やすごみとして処理されているなか、資源がまだ眠っています(右記グラフのとおり)
- 23区唯一の最終処分場はあと50年ほどでいっぱいになると言われています。処分場の延命化のためにも、ごみの減量が必要です
- 2050年までに区内の温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「ゼロカーボンシティ江東区」の実現を目指し、CO₂削減に取り組んでいます

▶▶▶ プラスチックを“もっと資源化”する動きへ

プラスチックの日に捨てるもの

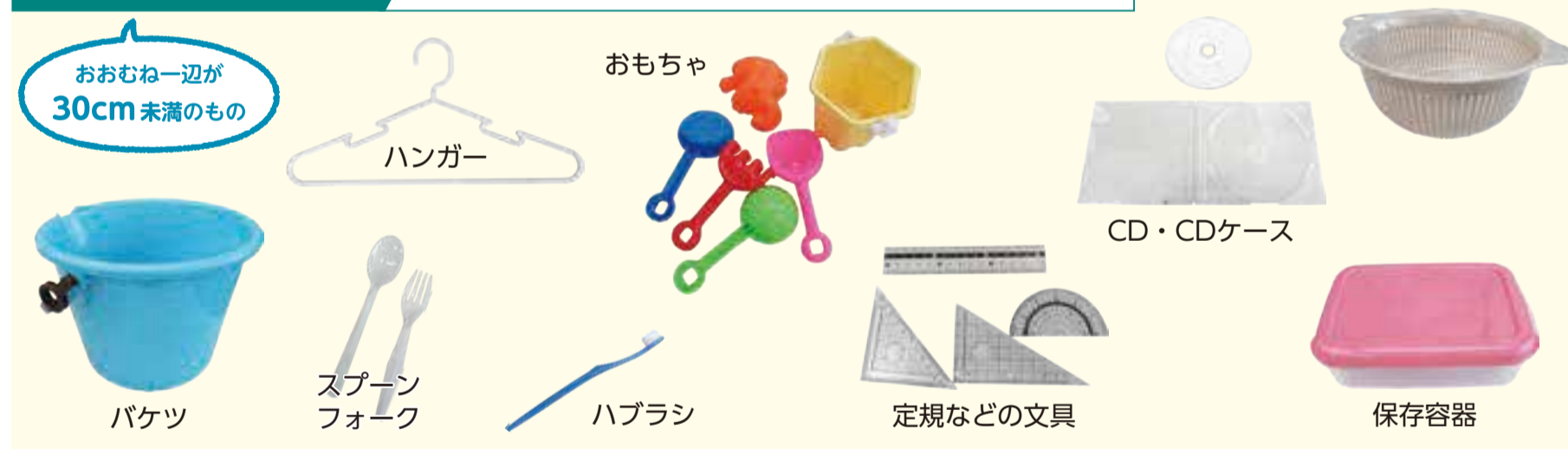
容器包装プラスチック

製品を包んでいる容器や包装でプラスチック素材のもの



製品プラスチック

容器包装以外の100%プラスチック素材の製品

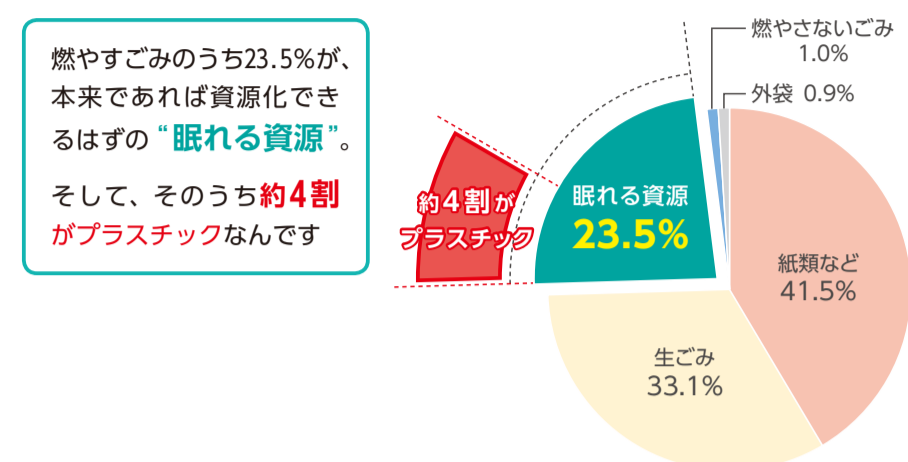


プラスチックの日に出せないもの

<p>水で軽くすすいでも汚れが落ちないもの</p> <p>燃やすごみで出してください</p>	<p>バッテリー・電気配線や電池・金属がついている家電製品</p> <p>リモコン</p> <p>ハンディ扇風機</p> <p>イヤホン</p> <p>燃やさないごみまたは小型家電として出してください</p>	<p>刃物や発火性のもの</p> <p>カミソリ</p> <p>ライター</p> <p>リチウムイオン電池</p> <p>燃やさないごみで出してください</p>	<p>在宅医療などで使用したもの</p> <p>注射器など</p> <p>医療機関や薬局へお問い合わせください</p>
--	--	--	---

回収方法を変えるとどんな効果があるの？

区で回収されている燃やすごみの内訳(令和4年度)



回収方法変更の成果

プラスチックの回収品目拡大により、現在ごみとして処分されている“眠れる資源”が資源化されます

↓

ごみの減量化に結びつきます (年間ごみ収集車683台分)

↓

- 焼却によるCO₂を抑えることができます
- 最終処分場の延命化が図られます

プラスチックの出し方

中身が入っていたり汚れているものは、軽く水ですすいでから出してください

汚れを落としてから出してね!

ラベルシールは簡単にはがせる範囲ではがせばOK

完全にはがすのは大変!!

これくらいでOK!

プラスチックの日に

100%プラスチック素材の部分

ペン先・芯：燃やすごみ (金属とプラスチックの複合素材・インク汚れ付着)

金属のばね：燃やさないごみ

プラスチックはすべてひとまとめで、中身の見える袋が蓋付きの容器に入れて出してください

回収後は袋を破いて選別をしますので二重袋はやめてください

容器包装も 製品プラも

全部ひとまとめでして

中身が見えるようにしてね

回収からリサイクルまでの流れ

START 各地域の回収日に回収

中間処理施設で選別・圧縮・梱包

選別の様子

梱包の様子

出典：(公財)日本容器包装リサイクル協会

GOAL 再資源化工場で、新たな資源化物に

再生樹脂

パレット

RPF(固形燃料)

出典：(公財)日本容器包装リサイクル協会